



熊本県立済々黌高等学校

スーパーグローバルハイスクール

取り組みが始まりました！

本校は平成26年度、文部科学省からスーパーグローバルハイスクール(SGH)の指定を受けました。これは、将来国際的に活躍できるグローバル・リーダーを育成するため、グローバルな社会課題を発見・解決できる人材や、グローバルなビジネスで活躍できる人材の育成に関する教育課程等の研究開発を行うという目的を持った取り組みです。指定期間は5年間で、国内外の大学や企業、国際機関等との連携による質の高い教育課程の開発・実践やその体制整備に対して毎年最大1600万円の支援を受けることができます。

本校では、「国際的素養を備え世界をリードする済々多士教育プログラムの開発」を研究開発構想として掲げています。具体的には「持続可能性を確保する開発と地球環境の保全」をテーマに水俣病や水資源等の地域特有の課題と世界の環境問題をスパイラルに研究する「SG Research Project(課題研究)」と、英語をツールとしたコミュニケーション能力の向上を図る「SG Communication Project」という2つのプロジェクトを計画・実施していきます。この取り組みを通して、世界を舞台に活躍できるグローバル・リーダーに必要な資質と能力を持った生徒を育成するとともに、その為の指導方法及び教育課程の研究開発を実践していきたいと考えています。

今年度のこれまでの主な取組としては、「SG キックオフセレモニー」として熊本県立大学理事長の五百旗頭真氏や京都大学総長の松本紘氏による講演会を実施しました。また、熊本県ユニセフ協会の「アフリカのこどもの日 in Kumamoto」の「水俣病研究ツアー」に参加し、アフリカの留学生の方々と交流しました。また、夏休みには、1年生全員が地元の抱える課題を発見するという視点を持って勤労体験「SAP(Social Action Program)」に参加し、2年生の15名は東京大学で環境学習を行ってきました。

「SG Communication Project」としては、6月から年間9回の「即興型英語ディベート講座」を大学等のディベート専門部の先生方をお招きして実施しています。今後も様々な取組を行っていきますので、最新情報を本校HP(<http://seiseiko.ed.jp>)でチェックしてみてください。今後も済々黌高等学校の活動にご注目下さい。

(済々黌高等学校 教諭 鶴濱正悟)

かんくまもスーパーグローバルハイスクールに参加します！

11月4日(火)済々黌高等学校でスーパーグローバルハイスクール講演会が行われます。

これは、県内の専門家(大学教授など)10名(予定)がそれぞれの教室に分かれ、講演を行うもので、生徒は自分の興味のあるテーマを選び聞くことができます。

かんくまは、井上理事より「熊本の地下水について」、事務局より「熊本大学薬学部の海外研修(イギリス・ドイツ)プログラム」や「韓国環境団体との交流事業」などについてお話をさせていただく予定です。

また、宮北代表理事は本業である「水俣病の現在と水俣学(仮)」について話す予定です。

